

命を守る技術

「応急手当」「救急手当」の講習をしよう！

対象	中学生～高校生
コマ数	3コマ

実践校：板橋区立高島第一中学校
江戸川区立葛西中学校

プログラム 要 素	救急救命
--------------	------

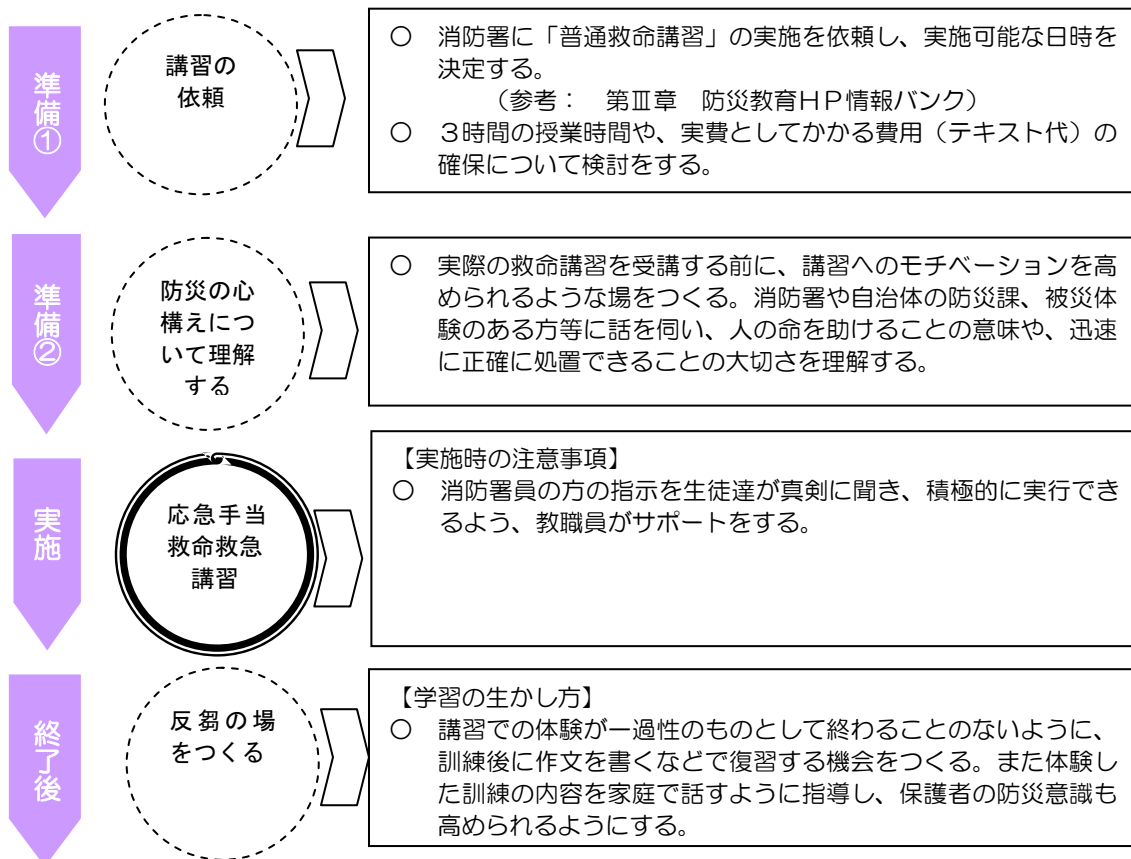
<何をやるの？>

- ☀ 学校の授業時間に、消防庁が実施する普通救命講習を受講する。訓練用人形を使って、**応急処置訓練—「意識の観察」「気道確保」「心肺蘇生法」「ハイムリック法」「止血法」—**等を行う。

<なぜ必要なの？>

- ☀ 地域の人づくりの一環として、**救命技術を学ぶ**。同時に、人命の尊さ、ボランティアスピリットを身につける。学生時代に正確な救命技術を学ぶことによって、普段は忘れていても万が一の時に人を助けることにもつながる。

<プログラム実施までの流れ>





訓練用人形

きちんとした救命処置を行わないと
反応しない。



防災の心構えについて

(板橋区防災課長 鍵屋氏)

地震に備える心構えが必要であると
写真を見せながら伝える。



意識の観察

呼び掛けで反応すれば「意識あり」、
何もしなければ「意識なし」と
判断する。



人工呼吸

15回心臓マッサージを行った後、続いて人工呼吸を2回行う。



心臓マッサージ

人工呼吸とともに心臓マッサージを行う。



ハイムリック法

傷病者の上腹部を圧迫して、異物を除去する方法。

○●応急手当の講習を受けてみませんか？●○

特に、応急手当・救命手当を自分で教える場合、講習を受講して正確な手技を確認しておくのが望ましいでしょう。消防の普通救命講習（3時間）・上級救命講習（8時間）や、日赤の救急法救急員養成講習（8時間×3日）が代表的で、実費程度の費用で受講できます。

指導法を中心にさらに追求される方は、消防の応急手当普及員講習（8時間×3日）を。資格認定を受ければ、普通救命講習の指導を行うこともできますよ。